

令和7年度保育所における自己点検・自己評価

二葉こども園の教育・保育目標

キリスト教の愛の精神を基盤とし、子どもが自ら生きる力を養い、豊かな個性を育みながら、共に生きることを喜びとする教育保育を目指します。

二葉こども園の教育・保育方針

- ・目に見えないものを大切にする。
- ・子どもの主体性を大切にする。
- ・一人ひとりを大切にする。

≪評価基準≫

- A：大変よい
- B：よい
- C：一部を検討を要する
- D：改善を要する

評価項目の達成及び取組状況

項目	評価内容	評価	振り返り
保育計画	園の保育方針を理解して、保育計画を立てた	C	前年度の振り返りを生かしつつ、より良い保育を行えるように計画を立てている。短い時間でも共通理解ができるように取り組んでいる。
	園の保育目標を理解して、年間保育計画を立てた		
	保育計画は、前年度の反省を生かしている		
	保育目標は、全職員で検討し、共通理解を図っている		
保育実践	園の保育方針を理解して、実践をしようと努めている	B	キリスト教の愛の精神をもととし、1人ひとりが『大切なひとりとして受け入れられている』と感じていけるように保育をおこなっている。日々の子どもの様子に合わせて保育の過程を大切にしつつ、振り返りを行いながらより良い保育に努めている。
	年間保育目標を意識して保育に取り組んでいる		
	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している		
	素材・用具を適切に活用している		
環境づくり	子どもの発達を促すための環境づくりを心がけている	B	園の遊具を気持ち良く使い、のびのびと遊べるように点検や消毒、環境づくりをおこなうようにしている。子どもたちが“やりたい”“やってみたい”と思うことがじっくりと出来るように整えている。
	常に遊具や教具の安全確認を行い、定期的に洗浄・消毒をしている		
	子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境づくりを行っている		
	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている		
子どもへの関わり	一人ひとりを大切に関わっている	A	子どもたち一人ひとりを大切に思い関わっている。目には見えない気持ちや心にしっかりと寄り添い、ありのままを受けとめながら日々自信を持って様々なことに取り組んでいけるよう援助している。
	一人ひとりの思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている		
	一人ひとりの子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている		
	一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、丁寧に関わっている		
保護者対応	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている	B	個人面談や送迎時など、子どもたちの成長を伝え、共に喜びさらなる成長を願い見守っていけるようにしている。課題等についてはしっかりと連携して支えていけるようにしている。
	送迎時に子どもの姿を必ず伝えている		
	保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている		
	園に出入りしている保護者・子どもたちに自分から気持ちの良い挨拶をしている		